



# Adobe® Acrobat® Reader 3.0J

## オンラインガイド

- Acrobat Reader の使用
- PDF ファイルの表示
- Web 上での PDF の使用



## Acrobat Reader の使用

Acrobat Reader を使うと、アドビシステムズ社のPDF (Portable Document Format) 書類の表示、閲覧、プリントを行うことができます。

Acrobat Reader ソフトウェアのコピーは、商業用の配布も含めて無制限に作成、配布することができますが、その場合は必ず次の項目を含むようにしてください。

- Adobe Systems Inc. (アドビシステムズ社) が提供したとおりの Acrobat Reader インストーラ。
- Acrobat Reader エレクトロニックエンドユーザ使用許諾契約書。
- Acrobat Reader に含まれている著作権や所有権情報。 ➤



- Acrobat Reader を含むすべてのメディアやパッケージに関する次の文章。

「 Acrobat<sup>®</sup> Reader Copyright © 1987-1997 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved. Adobe および Acrobat は アドビシステムズ社の商標で、特定の法域で登録されています。」

Acrobat Reader エレクトロニックエンドユーザ使用許諾契約書および所有権に関する情報は、Acrobat Reader のインストーラプログラムに含まれています。Acrobat Reader ソフトウェアのインストーラを修正したり、独自のインストーラを作成することは、禁じられています。Acrobat Reader 製品の使用条件についての詳細は、各製品のインストール時に表示される Acrobat Reader エレクトロニックエンドユーザ使用許諾契約書を参照してください。

Acrobat Reader の配布時に、「Includes Adobe Acrobat」のロゴをアドビシステムズ社から入手することができます。詳細は、<http://www.adobe.com/acrobat/acrodist.html> を参照してください。 ■



## PDF ファイルの表示

PDF ファイルの開き方とプリント

環境設定

書類の表示

書類情報の表示

ページの操作

文字の検索

ノートの表示

ムービーやサウンドの再生

別のアプリケーションへのテキストとグラフィックスの  
コピーとペースト



## PDF ファイルの開き方とプリント

PDF ファイルの開き方

Web ブラウザウインドウ内での PDF ファイルの開き方

別のファイルに OLE オブジェクトとして埋め込まれている PDF ファイルの開き方

PDF ファイルのプリント

日本語フォントを含む PDF 書類のプリント



## PDF ファイルの開き方

PDF ファイルを開くには、ファイル/開くを選択します。ファイル一覧ダイアログボックスでファイル名をハイライトして、「開く」をクリックします。通常、PDF ファイルには「.pdf」という拡張子が付いています。また、ファイルのアイコンをダブルクリックして PDF ファイルを開くこともできます。

Macintosh でファイルをダブルクリックしても Acrobat Reader でファイルが開かない場合は、ファイル/開くを選択してファイルを開き、閉じてから、もう一度ファイルをダブルクリックします。詳細は、[Macintosh の Finder からの PDF ファイルへのアクセス](#)を参照してください。 ➤



PDF ファイルは、ツールバーやメニューバー、ウインドウコントロールのないフルスクリーンモードで開くように設定されている場合があります。メニューバーが隠れている場合は、Control+Shift+M キー（Windows）またはCommand+Shift+M キー（Macintosh）を押すと、一時的にメニューバーを表示できます。書類を開く際の設定をすべて無視するには、Control+Shift キー（Windows）または Option+Shift キー（Macintosh）を押しながら書類を開きます。 ■



## Web ブラウザウインドウ内での PDF ファイルの 開き方

リンクの付いた PDF ファイルをブラウザで開くには、リンクをクリックします。ブラウザや Web サーバの設定、また PDF ファイルが最適化されているかによって、ダウンロードを 1 ページごとに行うか、書類全体のダウンロードを完了してから画面に表示するかが決まります。詳細は、[Web ブラウザを使った PDF の表示](#)を参照してください。

この機能をサポートするブラウザのリストは、「お読みください」ファイルまたは「ReadMe.txt」ファイルを参照してください。サポートするブラウザの最新リストは、弊社の Web サイト (<http://www.adobe.com/acrobat/moreinfo>) をご覧ください。





## 別のファイルに OLE オブジェクトとして埋め込まれている PDF ファイルの開き方

PDF ファイルは、OLE ( Object Linking and Embedding ) 1.0 または OLE 2.0 の各コンテナアプリケーションで作成したほかの書類に組み込むことができます。

埋め込まれた PDF ファイルを表示するには：

- 1 PDF ファイルを埋め込んだ書類を開きます。
- 2 書類中の Acrobat アイコンまたは RTF テキストをダブルクリックします。Acrobat Reader が起動し、アクティブ化された PDF ファイルが表示されます。

注意：Acrobat Reader 上で変更や保存を行うことはできません。

Macintoshでは、OLEはサポートしていません。



## PDF ファイルのプリント

まず、ファイル / 印刷設定 (Windows) またはファイル / 用紙設定 (Macintosh) を選択して、プリントオプションを選びます。プリントの準備ができたなら、ファイル / 印刷 (Windows) またはファイル / プrint (Macintosh) を選択します。

Acrobat Reader では、通常のアプリケーションにはない「縮小」オプションが選択できます。「縮小」を選択すると、プリンタで使用中の用紙のサイズに合わせて、ページサイズの縮小や回転が必要に応じて行われます。

Acrobat Distiller 3.0J で作成した PDF ファイルには、高解像度イメージセッタ用にカスタムのハーフトーンスクリーンを含めることができます。標準のデスクトップ PostScript (ポストスクリプト) プリンタで PDF ファイルに含まれているカスタムハーフトーンスクリーンを出力すると、画像がぼやける場合があります。プリントの画質を維持するには、Reader のプリントダイアログボックスで「プリンタハーフトーンを使用」オプションを選択します。



## 日本語フォントを含む PDF 書類のプリント

PDF書類に日本語フォントが含まれている場合、プリントダイアログボックスに「プリンタフォントを使用」オプションが表示され、デフォルトでこのオプションが選択されています。日本語 PostScript (ポストスクリプト) プリンタ、およびプリンタにインストールされているフォントを使用する場合は、このオプションを選択してください。日本語 PostScript プリンタを使用しない場合や、書類をきれいに再現する必要がない場合は、このオプションの選択を解除して、PDF 書類をビットマップとしてプリントします。PDF書類をビットマップとしてプリントすると、プリンタの置換フォントを使用するよりもプリントに要する時間が長くなる可能性があります。

注意：「プリンタフォントを使用」オプションを選択すると、書類のフォントに置換フォントが使用される場合があるので、ポストスクリプトプリンタからの出力は画面表示と正確に一致しない可能性があります。



## 環境設定

環境設定は、アプリケーションのパフォーマンスやインターフェース、動作を変更するときに使います。Acrobat Reader の環境設定の大半で、使用中の Reader での書類の表示の方法が決まります。特定の PDF ファイルでは、書類の設定により環境設定が部分的に無視される場合もあります。書類の設定を無視する方法については、[PDF ファイルの開き方](#)を参照してください。 ➤



環境設定を行うには：

ファイル / 環境設定を選択し、変更する環境設定を選択します。

- 「**一般の環境設定**」オプションでは、適切な書類の表示を設定します。
- 「**ノートの環境設定**」では、ノートのテキストのフォントとサイズを指定します。
- 「**フルスクリーンモードの環境設定**」では、フルスクリーンモード中の書類の表示および動作方法を決定します。
- 「**Weblinkの環境設定**」では、Weblink 情報の表示方法を決定し、Weblink で起動するブラウザを選択します。

このほかの Acrobat プラグインを使用すると、新しい環境設定が追加される場合があります。詳細は、プラグインに付属している説明ファイルを参照してください。 ■



## 書類の表示

ページ表示の拡大・縮小

ページサイズが大きい書類での作業

スクロールしやすいページレイアウトの選択

初期設定の表示の選択

フルスクリーンモードでの書類の表示



Weblink で使用する Web ブラウザの選択



## ページ表示の拡大・縮小

画面の表示倍率を変更するには、ズームツールやステータスバーの倍率ボックスのほかに、ツールバー上にある「実寸表示」、「全体表示」、「全幅表示」の各ボタンを使用します。表示の最大倍率は 800% で、最小倍率は 12% です。大きな書類を拡大する場合は、**手のひらツール**を使って画面やサムネール上で表示位置を調整します。

Acrobat Reader では、特定の比率を指定するのではなく、画面上でのページの表示方法に応じて倍率を選択することもできます。

- 「全体表示」  は、メインウィンドウにページ全体がおさまるように表示を拡大・縮小します。
- 「全幅表示」  は、メインウィンドウの幅にページの幅を合わせて表示を拡大・縮小します。
- 「有効領域表示」は、ページ上の画像部分（テキストおよびグラフィック）をウィンドウいっぱいに表示します。 ➤





この3つのオプションのいずれかを選択した場合は、ステータスバーにその表示倍率が表示されます。

「全体表示」、「全幅表示」、「有効領域表示」の各オプションを一度選択すると、次に変更するまで、別のページに進んでも同じ表示倍率が使用されます。

拡大するには：

次のいずれかの操作を行います。



- ズームツール  を選択してページをクリックすると、倍率が2倍になります。
- ズームツール  を選択し、ドラッグして矩形（マーカー）を描くと、その部分が拡大されます。
- ステータスバーの倍率ボックスをクリックし、倍率を選択します。「ズーム」を選択した場合は、倍率を入力して「OK」をクリックします。 ➤






縮小するには：

次のいずれかの操作を行います。

- Ctrl キー（Windows）または Option キー（Macintosh）を押しながらズームツール  を選択し、縮小する部分の中央をクリックします。
- Ctrl キー（Windows）または Option キー（Macintosh）を押しながらズームツール  を選択し、ドラッグして矩形（マーカー）を描くと、その部分が縮小されます。
- ステータスバーの倍率ボックスをクリックし、倍率を選択します。「ズーム」を選択した場合は、倍率を入力して「OK」をクリックします。

注意：Web ブラウザウインドウ内で PDF ファイルを表示する場合は、ズームアウトツール  を使って表示を縮小します。 ■



## ページサイズが大きい書類での作業

Reader のウィンドウ以上のサイズにページを拡大する必要がある場合は、手のひらツールを使ってページの表示位置を調整すると、ページ上のすべての部分を見ることができます。手のひらツールを使って PDF ファイルを動かす作業は、机の上にある紙を手で動かすのと似ています。



## スクロールしやすいページレイアウトの選択

Acrobat Reader には、「1 ページ」、「1 コラム」、「2 コラム」の 3 つのページレイアウトオプションがあります。「1 コラム」と「2 コラム」を選択すると、前ページの下の部分と次ページの上の部分が表示されます。

- 「1 ページ」レイアウトでは、書類ウインドウ内に 1 ページずつ表示されます。
- 「1 コラム」レイアウトでは、1 列に縦に並んで表示されます。
- 「2 コラム」レイアウトでは、2 列に縦に並んで表示されます。このオプションは、2 ページ見開きの書類や、Acrobat Reader のビューアウインドウに複数のページを表示する場合に選択します。書類のページ数が 3 ページ以上の場合、2 ページにわたる見開き





が正しく表示されるように、第 1 ページが右側に表示されます。  
このページレイアウトで見開きページをもっとも効率的に表示  
するには、表示 / 全幅表示を選択します。



1 ページレイアウト



1 コラムレイアウト ➤



## 2 コラムレイアウト

ページレイアウトを設定するには：

次のいずれかの操作を行います。

- ステータスバーのページサイズボックスをクリックし、メニューからページレイアウトを選択します。
- 表示メニューの「1 ページ」、「1 コラム」、「2 コラム」を選択します。 ■



## 初期設定の表示の選択

表示の倍率やページレイアウトなどの表示に関する初期設定は、一般の環境設定ダイアログボックスで行います。これらの設定は、初期設定の表示で開くように設定されている書類に適用されます。

表示の初期設定を行うには：

- 1 ファイル / 環境設定 / 一般を選択し、一般の環境設定ダイアログボックスを開きます。
- 2 次のオプションの設定を選択します。
  - 「レイアウト」では、Acrobat Reader で PDF ファイルを開くときに使用するページレイアウトを指定します。
  - 「倍率」では、Acrobat Reader で PDF ファイルを開くときに使用する表示の倍率を指定します。
  - 「有効領域表示の最大倍率」では、アートの表示中や「有効領域表示」の選択時の最大倍率を設定します。 ➤



- 「置換フォント」では、コンピュータ上にない欧文の PostScript Type 1 フォントや TrueType フォントを Acrobat Reader で置換するときを使うマルチプルマスターフォントを指定します。プリンタのメモリ不足のために PDF ファイルをプリントできない場合は、「置換フォント」メニューで「サンセリフのみ」を選択します。置換フォントの変更は、Windows または Macintosh を再起動するまで有効になりません。
- 「ページ単位」（インチ、ミリ、ポイント）では、ステータスバー上のページサイズの表示に使用する単位を指定します。
- 「大きい画像を表示」を選択すると、ファイルサイズが 128K 以上の画像も表示されます。このオプションを選択しないと、大きい画像の代わりにグレーのボックスが表示されます。大きい画像を表示しない場合は、書類のページ操作を迅速に行うことができます。
- 「グリーキング：[ ] ピクセル未満」で指定したポイント未満のテキストがグレーの線で表示され、表示速度が速まります。初期設定は 6 です。 ➤



- 「スムーズフォント」を選択すると、テキストと白黒画像のエッジを滑らかにして、テキストや画像と背景とのコントラストを最小にすることができます。通常は、これでスクリーン上の画像の質が向上します。
- 「キャリブレーションカラーを使用する」を選択すると、PDF ファイル内の各画像のカラースペース情報を使ってオリジナル画像が正確に再生されます。詳細は、[キャリブレーションカラー](#)を参照してください。
- 「ページキャッシュ使用」を選択すると、次のページをバッファに保管して、ページ操作にかかる時間を短縮します。
- 「書類間リンクを同じウインドウ内に開く」を選択すると、リンクされた PDF ファイルが 1 つのウインドウ内で開かれ、Acrobat Reader で開くウインドウの数を最小限に抑えることができます。このオプションを選択しないと、書類間リンクをクリックするたびに新しいウインドウが開きます。別の書類からの書類間リンクがアクティブなときにリンク先のファイルがすでに開いている場合、そのファイルは別のウインドウで開いたままになります。➤





- 「バックグラウンドでファイルをダウンロード」を選択すると、必要なページがスクリーン上に表示された後でも、WebからのPDFファイルのダウンロードを続行します。このオプションを選択しないと、必要なページだけがダウンロードされ、残りのページは必要に応じてダウンロードされます。

注意：このオプションを選択しないで別の書類にリンクして、Netscape Navigator と互換性のある Web ブラウザの「戻る」コマンドを使うと、リンク元のファイルの表示ページに関係なく、開始ページが表示されます。また、このオプションを選択していても、PDF ファイル全体のダウンロードが完了する前に別のファイルにリンクすると、同じことが起こります。

- 「起動時に初期画面を表示」を選択すると、Acrobat の起動時に初期画面が表示されます。
- 「起動時にファイルを開くダイアログを表示」を選択すると、Acrobat の起動時にファイル一覧のダイアログボックスが表示されます。 ■



## フルスクリーンモードでの書類の表示

「フルスクリーンモード」を選択すると、メニューバーやツールバー、ステータスバー、ウィンドウコントロールが隠れて、PDF ファイルが画面全体に表示されます。PDF ファイルをフルスクリーンモードで開くかどうかの設定は、書類の作成者だけでなく、ユーザも行うことができます。フルスクリーンモードは、自動ページ操作や表示を利用したプレゼンテーションでよく使われます。

フルスクリーンモードの目的（プレゼンテーションや個人用）にかかわらず、独自のフルスクリーンモードの環境設定を指定できます。 ➤



フルスクリーンモードでもポインタはアクティブなので、リンクをクリックしたり、ノートを開いたりすることができます。また、メニューやツールバーが表示されていなくても、**キーボードショートカット**を利用してナビゲート用のボタンや倍率ボタンを使うことができます。

- 表示メニューでは、「ページのみ」、「しおりとページ」、「サムネールとページ」の各コマンドおよび「レイアウト」のコマンドを除くすべてのコマンドのショートカットを使えます。
- ツールメニューでは、手のひらツールとズームツールのショートカットを使用できます。

「フルスクリーンモード」を終了するには、Esc キーを押します。Esc キーを押しても表示モードが切り替わらない場合は、Ctrl+Shift+L キー（Windows）またはCommand+Shift+L キー（Macintosh）を押すとフルスクリーンモードを終了できます。 ■



## フルスクリーンモードの環境設定

Acrobat Reader のフルスクリーンモードの特性を設定するには、ファイル / 環境設定 / フルスクリーンモードを選択します。これらの設定は、書類をフルスクリーンモードで開く場合とフルスクリーンモードの設定がとくに指定されていない場合に適用されます。

通常は、初期設定をそのまま使用して問題ありません。 ➤



フルスクリーンモードの環境設定ダイアログボックスでは、次のオプションが指定できます。

- 「\_\_ 秒ごとに次の表示へ」では、指定した秒数の経過後に自動的に次のページに進むかどうかを指定します。自動ページ操作を行うには、テキストボックスに秒数を入力します。自動ページ操作が選択されていても、マウスやキーボードコマンドを使って書類のページ操作を行うことはできます。
- 「クリックして次の表示へ」を選択すると、マウスをクリックするたびに PDF ファイルの次のページを表示できます。
- 「最後のページでループ」を選択すると、最後のページからループして最初のページに戻ります。
- 「Esc キーで戻る」を選択すると、Esc キーを押した場合にフルスクリーンモードを終了します。このオプションが選択されていない場合は、Ctrl+Shift+L キー（Windows）または Command+Shift+L キー（Macintosh）を押すと、フルスクリーンモードを終了できます。 ➤



- 「背景色」では、ウインドウの背景の色を指定します。オプションは、「黒」（初期設定）、「白」、「カスタム」です。「カスタム」を選択すると、システムのカラーパレットが表示されます。カスタムカラーの設定方法については、使用中のコンピュータのユーザガイドを参照してください。
- 「表示効果」では、フルスクリーンモードでページを切り替えるときの表示方法を指定します。初期設定は「置き換え」です。
- 「マウスポインタ」では、フルスクリーンモードでのマウスポインタの表示方法を指定します。初期設定では、ポインタが数秒後に隠れるように設定されています。 ■




## Weblink で使用する Web ブラウザの選択

PDF ファイル内で Weblink をクリックすると、指定のブラウザが起動してリンク先の書類が表示されます。これを行うには、使うブラウザを Acrobat Reader で指定する必要があります。また、Web ブラウザのボタンやリンク情報、ステータスなどの表示の切り替えも選択できます。

環境設定を変更するには：

- 1 ファイル / 環境設定 / Weblink を選択します。
- 2 次のいずれかのオプションを選択します。
  - 「リンク情報」メニューのオプションを選択して、Weblink 上にポインタがあるときの Reader のステータスバーでの URL の表示方法を選択します。「常に表示」、「表示しない」、「Ctrl キーで表示」(Windows) または「Option キーで表示」(Macintosh) の 3 つのオプションがあります。 ➤



- 「ツールバーボタンを表示」を選択すると、ツールバーに Web ブラウザボタン  が表示されます。このボタンをクリックすると、Acrobat Reader から Web ブラウザを起動できます。
  - 「進行状況を示すダイアログを表示」を選択すると、Weblink がアクティブ化された後にダウンロード中のデータ量などの進行状況が表示されます。
  - Web ブラウザを選択するには、「参照」(Windows)または「選択」(Macintosh)をクリックし、ブラウザを見つけて「開く」をクリックします。
  - 使用するブラウザに合った接続タイプを選択します。ブラウザがリストにない場合は、「標準」を選択します。
- 3 「OK」をクリックして、環境設定を保存します。 ■





## 書類情報の表示

ファイル / 書類情報を選択すると、書類情報の表示に使うコマンドを選択できます。

書類情報を表示するには：

ファイル / 書類情報を選択し、書類情報の種類を選択します。

- 「一般」を選択すると、PDF ファイルの作成に関する基本的な情報が表示されます。
- 「フォント」を選択すると、使用中のフォントの情報が表示されます。
- 「セキュリティ」を選択すると、書類のセキュリティ設定が表示されます。



## 書類の一般情報へのアクセス

一般情報ダイアログボックスには、書類のタイトル、サブタイトル、作成者、キーワードに関する情報が、それぞれわかる範囲で表示されます。さらに、このダイアログボックスには Exchange、PDF Writer、または Ditiller で設定した属性も表示されます。

- 「作成」は、オリジナル書類の作成に使ったプログラムです（認識可能な場合のみ表示）。
- 「PDF 変換」は、PDF ファイルを制作したアプリケーションまたはドライバです。
- 「作成日時」は、書類を作成した日付と時刻です。
- 「更新日時」は、書類を最後に更新した日付と時刻です。 ➤



- 「最適化」は、ファイルが最適化されているかどうかを示します（最適化されたファイルは、Web サーバから 1 ページずつダウンロードすることができます）。
- 「ファイルサイズ」は、PDF ファイルのサイズです。

注意：タイトルは書類のタイトルで、ファイル名とは異なる場合があります。ファイル名は、ドキュメントウインドウのタイトルバーに表示されます。 ■



## 書類で使用中のフォント情報へのアクセス

フォント情報ダイアログボックスには、オリジナル書類で使用されているオリジナルフォント、フォントの種類、エンコーディング、Reader で使用中の置換フォントおよびその種類が表示されます。ここでは、書類内で表示中のページより前のページで使われているフォントだけがリストされます。書類全体で使用しているフォントをすべて表示するには、「フォントリスト」ボタンをクリックしてください。

フォント情報ダイアログボックスを表示すると、オリジナル書類で使用したフォントと表示中のフォントを確認できます。置換フォントを使用していて、その結果に満足できない場合は、オリジナルフォントをシステムにインストールしてください。

Macintosh では、Acrobat Reader での欧文の置換フォントの作成中にポインタが a に変わり、回転します。



## セキュリティ設定情報へのアクセス

セキュリティ情報ダイアログボックスには、指定の PDF ファイルに割り当てられたセキュリティ設定が表示されます。

PDF ファイルの作成者は、書類パスワードを設定したり、特定のツールやコマンドの使用を制限するなどして、ファイルへのアクセスを制限することができます。ファイルを開く際に書類パスワードが必要な場合は、パスワードを入力しないと書類を表示できません。ファイルへのアクセスに制限がある場合は、選択できないツールやメニュー項目はグレー表示されます。



## ページの操作

書類のページ操作

サムネールを使ったブラウズ

しおりを使ったブラウズ

リンクの使用

前のページの表示

アートの表示




## 書類のページ操作

Acrobat Reader では、いろいろな方法で書類のページ操作を行うことができます。



次のページに進むには：

次のいずれかの操作を行います。

- ツールバー上の「次ページ」ボタン  をクリックします。
- 右または下の矢印キーを押します。
- 表示 / 次ページを選択します。

前ページに戻るには：


次のいずれかの操作を行います。

- ツールバー上の「前ページ」ボタン  をクリックします。
- 左または上の矢印キーを押します。
- 表示 / 前ページを選択します。 




開始ページにジャンプするには：

次のいずれかの操作を行います。

- ツールバー上の「開始ページ」ボタン  をクリックします。
- Home キーを押します。
- 表示 / 開始ページを選択します。

最終ページにジャンプするには：

次のいずれかの操作を行います。

- ツールバー上の「最終ページ」ボタン  をクリックします。
- End キーを押します。
- 表示 / 最終ページを選択します。

特定のページにジャンプするには：

次のいずれかの操作を行います。 ➤





- メインウインドウの下部にあるステータスバーのページ番号ボックスをクリックし、ページ番号を入力して「OK」をクリックします。
- 表示 / ページ指定を選択し、ページ番号を入力して「OK」をクリックします。
- スクロールボックスを上下に動かしたときに、スクロールバーの左側に長方形が表示されます。そこにジャンプ先のページ番号が表示されるまで、スクロールバーを上下にドラッグします。

画面を1つずつ移動するには：

- PageDown キー、Enter キー、または Return キーを押すと、次の画面に進みます。
- PageUp キー、Shift+Enter キー、または Shift+Return キーを押すと、前の画面に戻ります。


ページを左右にスクロールするには、ステータスバー上のスクロールバーを使います。 ■



## サムネールを使ったブラウズ

サムネールは各ページを縮小したもので、オーバー表示エリアに表示することができます。サムネールを使うと、特定のページにすばやくジャンプしたり、現在のページの表示を調整することができます。

サムネールを使って特定のページにジャンプするには：


「サムネールとページ」ボタン  をクリックするか、表示 / サムネールとページを選択して、サムネール画像を表示します。サムネールをクリックすると、そのページにジャンプします。このときにクリックした位置がメインウインドウの中央に表示されます。

書類の作成者がサムネールを作成しなかった場合、オーバー表示エリアのサムネールはグレーのボックスとして表示されます。この場合は、縮小表示なしでサムネールを使用するか、作成者にサムネールを作成してもらいます。 ➤



表示中のページの表示を調整するには：

次のいずれかの操作を行います。

- 表示中のページのサムネール上にあるページ表示ボックス（薄いグレーのボックス）の右下の角にポインタを移動します。ポインタが両方向の矢印に変わったら、ボックスの角をドラッグして、ページの表示を拡大・縮小します。
- ページの表示位置を移動するには、手のひらツールを使って、サムネール上のページ表示ボックスをドラッグします。
- ページ表示ボックスの外側にポインタを置いてドラッグし、新しいボックスを描きます。

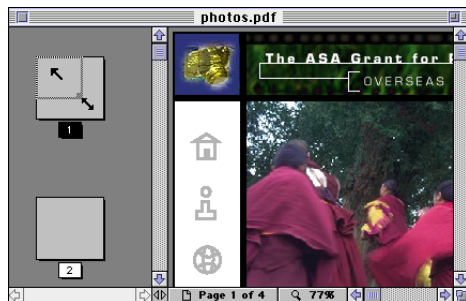
次のページの例を参照してください。 ➤



## ページ表示ボックス



ページ表示ボックスの右下の角にドラッグしてページの表示をポインタを移動します。



拡大・縮小します。




ページ表示ボックスの内側にポインタを置き、ドラッグしてドキュメントウインドウ内のページの表示位置を調整します。 ■



## しおりを使ったブラウズ

しおりを使うと、書類の一部にマークを付けて後ですばやくアクセスしたり、ほかの書類のページ表示や Web にリンクしたり、ムービーやサウンドを再生したり、アートを入力することができます。

しおりを使って特定のトピックにジャンプするには：



- 1 「しおりとページ」ボタン  をクリックするか、表示 / しおりとページを選択して、オーバー表示エリアにしおりを表示します。しおりの左側に三角形が表示されている場合は、この三角形をクリックすると、その下のレベルにあるしおりの表示を切り替えることができます。
- 2 しおりで指定したページにジャンプするには、しおりのテキストをクリックするか、しおりの左側にあるページアイコンをクリックします。また、しおりを使って、ページ表示の変更やムービーの再生などの作業を行うこともできます。



## リンクの使用

リンクを使うと、別のアプリケーションファイルを開いたり、書類の特定部分へのリンク、ほかの PDF ファイルへのジャンプ、Web 上の指定の位置へのジャンプ、ムービーやサウンドの再生、アートの表示、メモの表示の切り替えを行うことができます。

リンク先にジャンプするには：

1 リンクの付いた部分の上にポインタを移動します。ポインタは、リンク部分の上では指先ポインタ  に変わります。Weblink の上では、指先ポインタ  に W の文字が表示されます。

2 リンク先にジャンプするには、リンクの付いたテキストをクリックします。リンクをクリックすると、ページ表示の変更やムービーの再生などの作業を実行できます。



注意：Weblink のリンク先にジャンプするには、Weblink 環境設定で Web ブラウザを選択する必要があります。詳細は、[Weblink 環境設定](#)を参照してください。



## 前のページの表示

「戻る」ボタンを使うと、それまでに表示したページを逆戻りすることができます。逆戻りできる表示の数は、最高 64 です。「戻る」を選択すると、一度閉じた書類も必要に応じて開きます。

表示パスを逆戻りするには：

- 「戻る」ボタン  をクリックするか、表示 / 戻るを選択すると、前に表示したページや書類、または前に使った倍率に戻ります。
- 「進む」ボタン  をクリックするか、表示 / 進むを選択すると、「戻る」を最初に使用した表示まで 1 つずつ表示を進めて表示します。



## ア－ティクルの表示

ア－ティクルを使うと、書類内にパスを作成し、関連した部分を結び付けることができます。通常、ア－ティクルは複数のコラムにわたる雑誌の記事を読みやすくするために作成します。

書類にア－ティクルがあるかどうかを調べるには：

表示 / ア－ティクルを選択します（書類にア－ティクルがないと、このメニュー項目はグレー表示されます）。


注意：ア－ティクルダイアログボックスの「情報」をクリックすると、ア－ティクルのタイトル、作成者、サブタイトル、関連キーワードが表示されます。大きいモニタの使用中に、このダイアログボックスを表示しておいて複数のア－ティクルを続けて読めるようにするには、「表示中は隠す」の選択を解除します。 ➤







アートをク読むには：

1 次のいずれかの操作を行います。

- 表示 / アートをク選択し、ク読むアートをク選択したら、「表示」をククリックしてアートの最初の部分を表示します。
- 手のひらツール  をク選択し、アートのク中でク読みたい部分をククリックします。アートをク最初からク読むには、手のひらツールをク選択して、Ctrl キー（Windows）または Option キー（Macintosh）をク押しながらククリックします。

2 アートをク読みク進むと、ポインタが  にク変わります。ここで Return キーをク押すかククリックすると、次のアートのクに進みます。

3 Return キーをク押すかククリックしてアートのク最後までク進みます。アートのク終わりにク達すると、ポインタが  にク変わります。ここでククリックするか、Enter キーをク押すと、アートをク読みク始める前のページ表示にク戻ります。 ➤



アーティクルを逆方向に進むには：

次のいずれかの操作を行います。

- Shift キーを押しながらクリックします。
- Shift+Enter キーを押します。
- アーティクルの開始位置に戻るには、Ctrl キー（Windows）または Option キー（Macintosh）を押しながらクリックします。

アーティクルを終了するには：

次のいずれかの操作を行います。


- Enter キーまたは Return キーを押す以外のナビゲーション方法を選択します。
- 別のアーティクルまたはページに進みます。
- Shift+Ctrl キー（Windows）または Shift+Option キー（Macintosh）を押しながらクリックします。 ■



## 文字の検索

「検索」コマンドを使うと、アクティブな書類中で単語の一部、単語全体、または複数の単語を検索できます。

単語を検索するには：

- 1 検索ツール  をクリックするか、ツール / 検索を選択します。 ➤



## 2 必要なオプションを選択します。

- 「単語で検索」を選択すると、入力したテキストに含まれる単語は無視されます。たとえば、検索文字に「sticky」を入力すると、「stick」は検索されません。（欧文のみ）
- 「大文字・小文字を区別」および「全角・半角を区別」を選択すると、検索ダイアログボックスに入力したとおりの文字が検索されます。
- 「逆向きに検索」を選択すると、現在のページからファイルの先頭に向かって検索します。「逆向きに検索」は、書類中にすでに出てきた単語を検索するときに便利です。

3 「検索文字」テキストボックスに検索する文字を入力し、「検索」をクリックします。指定したテキストが見つかったら、「検索」ダイアログボックスが閉じてそのテキストを含むページが表示され、テキストそのものがハイライトされます。 ➤




4 同じ単語を再検索するには、Ctrl+G キー（Windows）または Command+G キー（Macintosh）を押すか、「検索」ダイアログボックスを開いて「再検索」をクリックします。Windows では、F3 キーを押した場合でも再検索が行われます。書類の途中から検索処理を始めた場合は、開始ページに戻るかどうかを尋ねるメッセージが表示されます。 ■



## ノートの表示

ノートは、紙面で書類を検討するときに使用する付箋のようなもので、PDF ファイルのページ上に小さいページアイコンとして表示されます。参照書類から直接ノートをプリントすることはできません。

ノートを表示するには：


- ノートを開くには、ノートアイコン  をダブルクリックします。
- 次のノートを検索するには、ツール/次のノートを検索を選択するか、Ctrl + T キー（Windows）または Command + T キー（Macintosh）を押します。
- ノートを閉じるには、ノートウインドウの左上にある閉じるボックスをクリックします（Macintosh では、ノートの選択中に Command+W キーを押してノートを閉じることもできます）。



## ムービーやサウンドの再生

Acrobat Reader を使うと、PDF ファイルに追加されたムービーやサウンドを再生できます。Windows でムービーやサウンドを再生するには、適切なサウンドボードとビデオボードのほかに、Apple QuickTime™ 2.0 以上のバージョンか、Microsoft Video for Windows ソフトウェアをインストールする必要があります。Macintosh では、QuickTime 2.0J 以上のバージョンが必要です。

ムービーやサウンドクリップを再生するには：

- 1 ポインタは、ムービーやサウンドクリップ上ではフィルムストリップ  に変わります。
- 2 クリップをクリックして再生します。 ➤



3 再生を中止するには、クリップをクリックするか、Esc キーを押します。

注意：特定のリンクやしおりでアクションとして設定されている場合は、書類内でムービーとサウンドを再生することもできます。

QuickTime ムービーのショートカットを使うと、QuickTime ムービーをコントロールできます。 ■





## QuickTime ムービーのショートカット

結果	操作
再生を中止してクリップを終了	Esc キー
再生と一時停止を切り替え	Return/Space キー
1 フレーム進む	右の矢印キー
1 フレーム戻る	左の矢印キー
サウンドのボリュームを上げる	上の矢印キー
サウンドのボリュームを下げる	下の矢印キー
クリップの始めにジャンプ	Home キー ( Windows )
クリップの終わりにジャンプ	End キー ( Windows )
再生	Ctrl/Command + 右の矢印キー
逆方向に再生	Ctrl/Command + 左の矢印キー



## 別のアプリケーションへのテキストとグラフィックのコピーとペースト

PDF ファイルのテキストやグラフィックは、選択してクリップボードにコピーし、ワードプロセッサのような別のアプリケーションの書類にペーストすることができます。また、PDF ファイルのノートやしおりにテキストをペーストすることもできます。


選択したテキストやグラフィックをクリップボードにコピーしたら、別のアプリケーションに切り替えて、別の書類にペーストできます。

PDF ファイルからコピーしたフォントが、コピーしたテキストを表示しているシステム上にない場合、フォントは保持できません。この場合は、代わりに MS ゴシック (Windows) または Osaka (Macintosh) を使用します。 ➤



テキストを選択してクリップボードにコピーするには：

1 次のいずれかの操作を行います。

- テキスト選択ツール  をクリックするか、ツール/テキスト選択を選び、ドラッグしてコピーするテキストを選択します。
- ある領域の中のテキストを横方向に選択するには、Ctrl キー（Windows）または Option キー（Macintosh）を押しながらドラッグします。
- 縦方向に選択するには、Ctrl キー + Alt キー（Windows）または Option キー + Apple キー（Macintosh）を押しながらドラッグします。
- Reader ウィンドウにページの 1 部しか表示されていない場合にページ上のテキストをすべて選択するには、編集 / すべてを選択を選びます。

注意：「すべてを選択」コマンドを選択しても、書類中のテキストをすべて選択することはできません。書類中のテキストをすべてコピーする場合は、編集メニューの「クリップボードへファイルをコピー」コマンドを使います。（Windowsのみ） ➤



マウスボタンを放すと、選択したテキストがハイライトされます。テキストの選択を解除して再度選択する場合は、選択したテキストの外側をクリックします。

2 編集/コピーを選択んで、選択したテキストをクリップボードにコピーします。テキストを表示するには、ウインドウ/クリップボードを表示を選択します。

注意：Windows 95 では、初期設定でクリップボードビューアがインストールされないので、「クリップボードを表示」コマンドを選択するには、これをインストールする必要があります。クリップボードビューアをインストールするには、スタート/設定/コントロールパネル/アプリケーションの追加と削除を選択し、「Windows ファイル」タブをクリックします。次に、「アクセサリ」をダブルクリックして「クリップボードビューア」にチェックマークを付け、「OK」をクリックします。 ➤



クリップボードにグラフィックをコピーするには：

- 1 ツール/グラフィック選択を選びます。ポインタがクロスヘアアイコンに変わります。
- 2 グラフィックの周りをドラッグして選択します。(グラフィックの選択を解除して再度選択する場合は、選択したグラフィックの外側をクリックします)。
- 3 編集/コピーを選んで、選択したグラフィックをクリップボードにコピーします。グラフィックを表示するには、ウインドウ/クリップボードを表示を選択します。グラフィックは、WMF フォーマット (Windows) または PICT フォーマット (Macintosh) でコピーされます。 ■



## Web 上での PDF の使用

PDF ファイルは World Wide Web 上で出版し、Web ブラウザや、ヘルパーアプリケーションとして指定した Acrobat Reader を使って読むことができます。

Web 表示のシナリオ

ページごとのダウンロード

Web 上での PDF の表示



## Web 表示のシナリオ

PDF ファイルは、Web 上で次のように処理できます。

- ブラウザが PDF の表示をサポートし、PDF ファイルが最適化されており、さらに Web サーバで**バイトサービング**がサポートされる場合は、PDF ファイルを 1 ページごとにダウンロードして表示できます。この場合に、Web 上で PDF ファイルをもっとも迅速に表示できます。
- ブラウザで PDF の表示がサポートされていても、PDF ファイルが最適化されていないか、Web サーバがバイトサービングをサポートしない場合は、PDF ファイル全体をダウンロードしてからブラウザウインドウに表示します。 ➤



- ブラウザで PDF の表示がサポートされており、PDF ファイルが HTML ページに埋め込まれている場合は、ブラウザウインドウ全体ではなく、その一部に PDF ファイルを表示することができます。インターネットエクスプローラなどの ActiveX ブラウザでは、ウインドウの一部を使って書類を閲覧することができます。Netscape Navigator と互換性のあるブラウザでは、HTML ページ内に PDF ファイルを表示できますが、閲覧を行うには、フルウインドウ表示へのリンクが必要です。
- ブラウザウインドウ内での PDF 表示がサポートされるかどうかにかかわらず、Acrobat Exchange または Reader がブラウザのヘルパーアプリケーションとして設定されている場合は、ブラウザで PDF ファイル全体をダウンロードしてから、別のアプリケーションとして起動した Acrobat Exchange または Reader で PDF ファイルが表示されます。

ヘルパーアプリケーションとしての Acrobat Reader の設定も参照してください。 ■





## ページごとのダウンロード

ページごとのダウンロード（バイトサービング）とは、Web サーバから、PDF ファイル全体ではなく、必要なページの情報だけをユーザに送信する方法です。PDF ファイルの読者が何もしなくても、バックグラウンドで Acrobat Reader と Web サーバとの間で通信が行われます。ただし、最初のページの表示中にバックグラウンドで PDF ファイル全体のダウンロードを続行する場合は、**一般環境設定**で「バックグラウンドでファイルをダウンロード」を選択します。

ページごとのダウンロードをサポートする Web サーバソフトウェアのリストは、<http://www.adobe.com/acrobat/moreinfo> をご覧ください。

使用中の Web サーバソフトウェアでページごとのダウンロードがサポートされない場合は、CGI アプリケーションを使ってこの処理を行うことができます。詳細は、<http://www.adobe.com/acrobat/moreinfo> をご覧ください。



## Web 上での PDF の表示

Web 上の書類などのリソースは、すべて固有の URL アドレスで識別されます。Web 上で PDF ファイルへの URL リンクをクリックすると、その URL で識別される書類が使用中の Web ブラウザでインライン表示されます。また、ブラウザで Acrobat Reader をヘルパーアプリケーションとして設定した場合は、Reader で表示されます。Web 上では、HTML 書類に埋め込まれた PDF ファイルを読むこともできます。

[Web ブラウザを使った PDF の表示](#)

[埋め込まれた PDF ファイルの表示](#)

[ヘルパーアプリケーションとしての Acrobat Reader の設定](#)



## Web ブラウザを使った PDF の表示

Web 上の PDF ファイルは、Netscape Navigator 3.0 やインターネットエクスプローラ 3.0 と互換性のある Web ブラウザで表示することができます。

Netscape Navigator と互換性のあるブラウザでは、プラグインフォルダに「PDFViewer」プラグインがないと PDF ファイルを表示できません。「PDFViewer」プラグインは、Netscape のプラグインフォルダに自動的にインストールされます。ほかのブラウザ、また Reader のインストール後に新しいブラウザをインストールする場合は、[Web ブラウザプラグインのインストール](#)を参照してください。

次の各項目も参照してください。

[ツールの使用と Acrobat ツールバーの配置](#)

[Acrobat Web サイトへのジャンプ](#)



## ツールの使用と Acrobat ツールバーの配置

「検索」と「テキスト選択」以外の Acrobat Reader ツールは、すべて Web ブラウザでも使用できます。ブラウザウインドウ内で Reader を使用する場合は、プリントツールがツールバーに追加され、PDF ファイルをプリントすることができます。

キーボードコマンドは Acrobat Reader ツールではなく、ブラウザのツールにマップされるので、Acrobat のキーボードショートカットはブラウザウインドウでは使用できません。


Web ブラウザで PDF ファイルを表示する場合は、ブラウザウインドウの 4 辺のいずれにでもツールバーを配置することができます。初期設定の位置は、ウインドウの上部です。

ツールバーの位置を変更するには：

- 1 ツールバー上の空白部分をクリックして、ツールバーを置くウインドウのエッジにドラッグします。
- 2 ウインドウのエッジに沿ってツールバーのアウトラインが表示されたら、マウスボタンを放します。 ■



## Acrobat Web サイトへのジャンプ

「Acrobat Web サイトにジャンプ」ボタンをクリックすると、Acrobat Web サイトに直接ジャンプできます。このページには、新しい技術に関する重要な情報や、無償でダウンロードできる Acrobat プラグインのリンク情報などがあります。



## 埋め込まれた PDF ファイルの表示

HTML 書類には、PDF ファイルを埋め込むことができます。通常は、埋め込まれた PDF ファイルの最初のページの画像が HTML 書類内に表示されます。HTML 書類の作成者は、埋め込まれた PDF ファイルをクリックしたときに、そのファイルが別のウィンドウで開くように設定できます。PDF ファイルは、ブラウザの設定によって、ブラウザウィンドウ内か Acrobat Reader のウィンドウ内に表示されます。こうして開いた PDF ファイルは、通常の PDF ファイルと同じように表示することができます。

ファイルが別のウィンドウで開くように設定されていない場合、インターネットエクスプローラと互換性のあるブラウザではインタラクティブに PDF の様々な閲覧機能を使用できませんが、Netscape と互換性のあるブラウザでは、これが行えません。たとえば、HTML ページ上に表示されている埋め込み PDF ファイル中のリンクは、Netscape Navigator では使用できませんが、インターネットエクスプローラでは使用できます。



## ヘルパーアプリケーションとしての Acrobat Reader の設定

PDF ファイルのインライン表示が使用中の Web ブラウザでサポートされていなかったり、PDF をインライン表示しない場合は、ブラウザの環境設定で Acrobat Reader をヘルパーアプリケーションとして設定することができます。Reader をヘルパーアプリケーションとして設定すると、Web 上でリンクされている PDF ファイルが Reader で表示されます。

Acrobat Reader をヘルパーアプリケーションとして使用する場合、ページごとのダウンロードや埋め込まれた PDF ファイルの表示は利用できません。 ➤



ブラウザで PDF ファイルが認識されるように設定するには、MIME タイプとファイルタイプを定義する必要があります。ファイルタイプは「pdf」で、MIME タイプは「application/pdf」に指定します。特定の Web ブラウザの設定方法についての詳細は、使用中のブラウザのマニュアルか、<http://www.adobe.com/acrobat/moreinfo> を参照してください。

Netscape Navigator 2.0 以上のバージョンを使用していて、Acrobat Reader をヘルパーアプリケーションとして使用する場合は、Netscape のプラグインフォルダ内の「PDFViewer」プラグインの名前を変更するか、削除します。プラグインの名前は「NPPDF32.dll」（Windows）または「PDFViewer」（Macintosh）です。 ■





## Web ブラウザプラグインのインストール

Netscape API アーキテクチャをサポートする Web ブラウザを使用する場合は、Web ブラウザプラグインをブラウザのプラグインフォルダにコピーします。Netscape Navigator を使用する場合は、Acrobat インストーラでプラグインがインストールされます。

Web ブラウザプラグインをインストールするには (Windows) :

- 1 エクスプローラを開きます。
- 2 「Acrobat3」フォルダ内の「Reader」フォルダに入っている「Browser」フォルダを見つけます。
- 3 Web ブラウザのプラグインフォルダに「NPPDF32.dll」ファイルをコピーします。 ➤



Web ブラウザプラグインをインストールするには ( Macintosh ) :

- 1 「 Adobe Acrobat 3.0J 」 フォルダ内の 「 Web Browser Plug-in 」 フォルダを開きます。
- 2 Web ブラウザのプラグインフォルダに 「 PDFViewer 」 プラグインをコピーします。 ■



## Macintosh の Finder からの PDF ファイルへのアクセス

Windows の Acrobat PDF 作成アプリケーションで作成した PDF ファイルは、Macintosh 上でダブルクリックしても開くことができません。ダブルクリックして PDF ファイルが開くようにするには、次のいずれかの操作を行います。

- ダブルクリックの代わりにファイル / 開くを選択します。Macintosh で「開く」コマンドを一度使用すると、次回からはダブルクリックで開くようになります。
- PDF Type Utility を使って、Macintosh 上でのファイルのタイプと作成アプリケーションを設定します。

PDF Type Utility ( Macintosh ) は、製品版の Acrobat 3.0J CD-ROM の「Utility」フォルダ内にあります。これを使用するには、別のプラットフォームで作成した PDF ファイルをこのアイコン上にドラッグします。すると、適切な情報が追加されて、ダブルクリックするだけでファイルが開くようになります。



## キャリブレーションカラー

PDF では、デバイスに依存しないカラー（DIC）仕様を指定できます。DIC を使うと、使用中のモニタやプリンタのカラー特性に関係なく、PDF ファイルの作成アプリケーションでページ記述部分にオブジェクトのカラーを指定することができます。

DIC を使うと、デバイスに依存せずに一貫したカラーを再生することができます。カラーはデバイス間で大きく異なるため、これは重要な特徴といえます。たとえば、モニタ 2 台のカラー特性を比べても、非常に異なる場合があります。ただし、特定の PDF ファイルに含まれるカラーが、すべて DIC 方式で指定されるわけではありません。現在、グローバルなレベルで DIC カラー仕様を使えるのは、Acrobat Distiller 2.1 以上のバージョンで作成した PDF ファイルだけです。また、DIC 仕様が適用されるのは画像だけで、ベクトルベースのラインアートには適用されません。

次の例は、同じ画像を基にした 2 つの画像です。1 つの画像を異なる 2 つのスキャナでスキャンしたとします。 ➤



このページに表示されているPDFファイルには、画像ごとに異なるカラースペースと画像データが含まれています。

モニタ A



モニタ B



カラーキャリブレーション前の PDF



カラーキャリブレーション後の PDF ➤



それぞれの画像に異なる画像データが含まれていても、Acrobat Reader でこの PDF ファイルの各画像のカラースペース情報を使って、オリジナル画像を正確に再生しています。モニタのような 2 つのデバイス間でカラーが完全に一致することはありませんが、より一貫した表示ができるようになります。 ■



## キーボードショートカット (Macintosh)

結果	操作
フルスクリーンモードを終了	Esc キー
フルスクリーンモードを終了	⌘ + . (ピリオド)
書類を開く際の設定を無視して 初期設定を使用	Shift + Option + 書類を開く
「Esc キーで戻る」の選択解除中に フルスクリーンモードを終了	Option + Shift + L キー



## キーボードショートカット ( Windows )

結果	操作
フルスクリーンモードを終了	Esc キー
書類を開く際の設定を無視して 初期設定を使用	Shift + Ctrl + 書類を開く
「Esc キーで戻る」の選択解除中に フルスクリーンモードを終了	Option + Shift + L キー
Exchange または Reader の オンラインガイドを開く	F1 キー





## ページ操作のショートカット (Macintosh)

結果	操作
右にスクロール	Shift + 右の矢印キー
左にスクロール	Shift + 左の矢印キー
上にスクロール	Shift + 上の矢印キー
下にスクロール	Shift + 下の矢印キー
開始ページにジャンプ	⌘ + 1
前ページに戻る	⌘ + 2
次ページに進む	⌘ + 3
最終ページにジャンプ	⌘ + 4
最終ページにジャンプ	End キー



## ページ操作のショートカット (Windows)

結果	操作
右にスクロール	Shift + 右の矢印キー
左にスクロール	Shift + 左の矢印キー
上にスクロール	Shift + 上の矢印キー
下にスクロール	Shift + 下の矢印キー
開始ページにジャンプ	Ctrl + 1
前ページに戻る	Ctrl + 2
次ページに進む	Ctrl + 3
最終ページに進む	Ctrl + 4
最終ページにジャンプ	End キー

© 1997 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.

## Adobe Acrobat 3.0J Reader オンラインガイド

このマニュアルおよびその中に記載されているソフトウェアは、ライセンスの所有者に対してのみ供給され、同ライセンスの許可する条件のもとでのみ使用または複製することが許されます。このマニュアルに記載された内容は、情報の提供のみを目的としており、予告なしに変更されることがあり、これらの情報について Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) はいかなる責任も負いません。また、このマニュアルに誤りや不正確な記述があった場合にも、アドビシステムズ社はいかなる責任、債務も負わないものとします。

このマニュアルに付属しているソフトウェアは著作権で保護されており、エンドユーザ使用許諾契約書に基づいたエンドユーザによる使用のみが許可されています。ユーザは、このソフトウェアを使用する前に使用許諾契約書をよく読んでください。当該ライセンスが許可している場合を除き、この出版物のいかなる部分も、アドビシステムズ社の書面による事前の許可なしには、いかなる条件下でも、また電子的、機械的、録音、そのほかのいかなる手段によっても、コピー、検索システムへの記憶、または電送を行うことはできません。

Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat、Acrobat Capture、Acrobat ロゴ、Distiller、Acrobat Exchange、Adobe Type Manager、PostScript、および "If you can dream it, you can do it" は、アドビシステムズ社の商標です。Microsoft および Windows は Microsoft Corporation の米国および各国における登録商標で、ActiveX および Windows NT は同社の米国および各国における商標です。Apple、Macintosh、Power Macintosh、および QuickTime は Apple Computer, Inc. の登録商標で、AppleScript および TrueType は同社の商標です。Netscape および Netscape Navigator は、Netscape Communications Corporation の商標です。Pentium は、Intel Corporation の商標です。そのほかの製品またはブランド名は、それぞれの所有者の商標です。

この製品は、米国特許番号 4,558,302 でライセンスを受けた LZW アルゴリズムを採用しています。➤

©1994このソフトウェアには、RSA Data Security, Inc. よりライセンス許可を受けたソフトウェアが含まれます。

制作・デザイン：Adobe Systems Incorporated, 345 Park Avenue, San Jose, California 95110-2704

アドビシステムズ株式会社 〒150 東京都渋谷区恵比寿 4-20-3 恵比寿ガーデンプレイスタワー

Adobe Systems Europe Limited, Adobe House, 5 Mid New Cultins, Edinburgh EH11 4DU, Scotland, United Kingdom

政府機関の著作権制限：政府による使用、複製または開示は、条項 252.227-7013 の「技術データおよびコンピュータソフトウェアにおける権利」の (c) (1) (ii) 項に示す制限を米国内の規定により受けます。

民間機関の著作権制限：使用、複製または開示は、条項 52.227-19 の「市販コンピュータソフトウェア著作権の制限」の (a) から (d) 項に示す制限、およびこのソフトウェアに関するアドビシステムズ社の標準販売協定に定める制限を米国内の規定により受けます。未発表の著作権は米国の著作権法により所有されています。

( 4/97 )



## このオンラインガイドの使い方



前または次のページに進みます。



ページや表示の変更を取り消すか、変更のやり直しを行います（戻る / 進む）。



このページにジャンプします。



表示中のトピックの親ページにジャンプします。

**テキスト** 指定のトピックにジャンプします。



トピックが継続している場合に次のページに進みます。



数ページにわたるトピックの最後のページです。

このガイドのプリントについての詳細は、次のページを参照してください。 ➤

## オンラインガイドのプリント

このオンラインガイドは、全ページだけでなく、トピックごとにプリントすることができます。オンライン表示のためにページサイズを小さく設定しているため、1 ページに 2 ページ分を割り付けて (2 Up) プリントした方がよい場合があります。

2 ページ分割り付けてプリントするには：

1 ファイル / プリント設定 (Windows) またはファイル / 用紙設定 (Macintosh) を選択します。

2 プラットフォームに応じて次の手順に従ってください。

- Windows では、「プロパティ」をクリックして「用紙」タブ上の「2 up」を選択します。「OK」をクリックしてプリント設定ダイアログボックスに戻り、もう一度「OK」をクリックして終了します。 ➤

- Macintosh では、「レイアウト」で「2 Up」を選択して「OK」をクリックします。

注意：Adobe プリントドライバを使用していないと、ステップ 2 を実行できない場合があります。これらのプリントドライバの使用中にこのステップを実行できない場合は、Acrobat CD-ROM 上の Adobe プリントドライバをインストールしてください。

3 ファイル/プリントを選択します。

4 プリントするページ範囲を指定します。

「OK」（Windows）または「プリント」（Macintosh）をクリックします。 ■